

## 年間第23主日

「天を仰いで深く息をつき、その人に向かって、「エッフアタ」と言われた。これは、「開け」という意味である」。

マルコ7・34

今日の福音は耳が聞こえず、舌も回らない人を癒された話しです。イエスはその耳が聞こえず舌の回らない人を治しました。確かにイエス様はこの奇跡で神の憐れみを示すわけです。

イエスは「エッフアタ」と言われました。これは、「開け」という意味です。

「エッフアタ」とは、アラマイ語で「開け」という意味であると書かれていますが、ギリシア語でつづられた福音書に、アラマイ語がそのまま記されたのです。この言葉には力があり、実際にそのまま働いたことに感動して、翻訳せずなしにそのまま伝えているのでしょう。

聾啞者の癒しの物語は、私たちの物語でもあります。私たちが神に接するとき、耳ほど強調される器官はありません。中々私たちは聞くことはできますが、見ることや話すことはできません。神は私たちに耳を二つ与えましたが、口は一つしか与えていません。それは、私たちが常に神に耳を傾けなければならないからです。真の聞き取りは、主を賛美し、祈りにつながります。もし、良い祈りができなしたら、それはきっと私たちが十分に聞いていないからです。

本当に耳を傾けるためには、言葉よりも沈黙が、研究よりも崇拜が、そして理性よりも信仰が必要だという指摘があります。聞くためには、静かにしなければなりません。受け取るためには、準備をしなければなりません。神の言葉を受け取るためには、他のすべての音を消さなければなりません。

今日、イエスは私たちの目と耳を、私たちの周りだけでなく、私たち自身の中にある悪、そして私たちの理解を必要としている人々の必要性、物質的なものに関き、キリストの思いやりと愛で応えたいと願っています。

